

てんぎょう 轉教

2016 11 NOV

平成 28 年 11 月 1 日発行
第 17 卷第 12 号 通算 201 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



題字：水谷日尚上人
(Web 版)

ご奉公のこころ

生きていく仏様・二

水谷 信洋

仏様は生きていく、という話題を今月も続けます。我々の「命」^{いのち}は身体はどこに宿っているのでしょうか。脳や心臓を切り刻んでみても、これが命だというものは見当たりません。脳が指

令を出し、心臓が体中に血液をおくり、骨格が体重をささえ、筋肉が手足を動かすという具合に、様々な機能が協力し合って身体を動かしています。この取り合わせの縁が「命」です。

人間の身体には六十兆個もの細胞があるそうですが、この複雑な組み合わせを誰がどうやって創ったというのでしょうか。遺伝子組み換えなど、生命の神秘にせまるほど科学が発達した現代の技術をもつてしても、「命」そのものを造り出すことは出来ません。（平成25年11月ご奉公のころ）生命科学にたずさわる学者が、生命の神秘を知れば知るほど、その複雑さや緻密さは「ダーウィンの進化論」だけで説明し切れるものではない。「偉大な力を持つ何者か」（サムシング・グレート）が創ったとしか言い

ようがないと語っています。

仏様はその「偉大な力を持つ何者か」を「宇宙の法則」と表現し、法華経の中では「久遠本仏」という永遠の寿命と衆生救済の意志をもった仏様であると説かれました。また、その意志を一言で表わすと「妙法蓮華経」であると仰せになりました。つまり、私たちの命は妙法蓮華経から生み出され、授かったものなのです。一人一人の心の奥には妙法蓮華経が備わっていて宇宙法界とつながっているのです。

それゆえに、妙法蓮華経の御本尊

に向かつて妙法を唱える信心にはげむことが重要なのです。妙法を口に唱えて周囲の人々の幸せを願えば、授かった命を最大限有効に活用することになるのですから。

御宝前に祈願をかけるのが信心の入口になると、常々お伝えしてきます。祈願とは我々のかくありたいと思う心を御本尊に申し上げ、御経力、御仏力の加護を求めます。法華経には所願不虛（所願は虚しからず）とあり、また諸天善神（薬王菩薩・勇施菩薩・鬼子母神・十羅刹女等）が仏の滅後においてこの経を受持す

る者を守護しますと誓う誓願文が説かれていきます。御本尊に向かつて祈願をかけ妙法蓮華経を唱えれば、本當に祈願成就のご守護があることが体験できるでしょう。すると、体験上からも仏様は生きていと知れるのです。

唐突に、「妙法蓮華経の御本尊を生きている仏様と思いなさい」と言われても、中々そうは思えないかもしれません。しかし、宇宙の法則を形に表したものが妙法蓮華経であると知って妙法を唱えれば、生きている仏様を感じることがきつと出来ます。

11月のご奉公のすすめ

高祖大士御尊像お綿かけご奉公の季節になりました。また、年末までには教区内全信徒宅のご本尊お塵払いご奉公が次世代、家族の協力を得てすすめられるよう計画を立てましょう。

の幸福を願うことがわが身の幸福につながります。新本堂への参詣者がさらに増え、皆で他人の幸せを願う祈願と口唱にはげみ活気あふれるご奉公をさせて頂きましょう。

一、随喜轉教について

最高の種まきをすれば、先には最善の運命が待っています。不足を思わず笑顔で生きること。法華経の題目を唱えて他人

・「開講本旨再興祈願」朝参詣週間 1日(火)から7日(月)
・「開講本旨再興祈願」口唱会 27日(日) 午前9時半
◆来年度への引き継ぎについて

11月の寺内行事予定表

1日(火)	開講本旨再興祈願総講	午前10時半
5日(土)	運営会議	午前9時半
6日(日)	団参聞信寺(静岡)	
12日(土)	高祖会 担当第三地区 連合幹事会	午前9時半
13日(日)	後統者育成係連絡会	午前10時半
17日(木)	高祖大士御命日総講 開導聖人御命日総講	午前10時半

11月・12月中に、

①乙祥月御講報告書12ヶ月分

②来年の年間御講席主予定表

③応援祈願経過報告

を引き継ぎ書類として今年の受
持ち講師に提出願います。

二、信徒講習会

本年度第二回信徒講習会が左
記の日程で開催されます。テ-

マは「口唱のしかた」と「百日
参詣体操」です。より良いお看
経を身につけられるよう積極的
に参加して下さい。

11月9日(水) 午前9時半

11月13日(日) 午後12時半

11月19日(土) 午前9時半

三、七五三無事養育成長 御礼言上

11月20日(日) 午前11時より

本堂にて七五三無事養育成長の
御礼言上式が行なわれます。子
供達の成長の節目を御法様に
お礼できる家族の幸せを共に喜
び、皆で参詣してお祝いのお看
経をあげましょう。

四、御本尊拝受御礼御講

11月12月の甲御講で自動車御

本尊・懐中御本尊・ロケット御
本尊等拝受者の御礼御講を併修
させて頂きます。この機会に必
ずお塵払いをさせて頂き、ご不
敬がないかよく確認し、使用さ

午前10時半

20日(日) 七・五・三無事養育成長

御礼言上式

午前11時

25日(金) 門祖聖人御命日総講

午前10時半

正副教区長会

午後12時半

27日(日) 開講本旨再興祈願口唱

会 (担当…事務局)

午前9時半

// 若い人の口唱会

午前10時半

■お詫びと訂正

轉教10月号20ページ、初参りを
されているお孫さんのお
名前は横山結弦さんです。

れない御本尊はお寺に返納するようすすめてください。

五、静岡聞信寺回参

11月6日(日)は静岡聞信寺

の回参です。当番参詣地区は第三地区です。同志寺院への応援の為に大勢でお参詣させて頂きましよう。他地区の応援参詣も歓迎します。



雨のお彼岸。この雨で、四半世紀に亘ったイザコザが流れ去っていくのではないか。そう思いながらお導師のお話をうかがった。

「祖先を敬い、亡き人を偲ぶ日

として古くより親しまれてきた秋分の日。故に、子供や孫たちに回向の大切さをつたえるのに、相応しい日だ」

雨のお彼岸中日は、御先祖を偲び、先師上人の恩に報いるの

平成28年9月の寺内行事報告

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 1日(木) | 開講本旨再興祈願総講
奉修
午前10時半 |
| 2日(金) | 秋季彼岸総回向お塔婆
ご回向料申込締切 |
| 3日(土) | 運営会議開催
午前9時半 |
| 4日(日) | 竜の口御法難記念
五時間口唱会奉修
午前9時半 |
| 10日(土) | 連合幹事会開催
午前9時半 |
| 〃 | 後続者育成係連絡会開催
午前10時半 |



にこれ以上にならない状況だ。

雨に煙る東京湾を眺めながら
着いた六角堂には、可憐な彼岸
花が、そちこちに咲いている。
御教歌の「草がくれながるる水
もせかれては世にありがほに音
たてぬめり」の水のように、「私
ここにいますよ」と紅い花を開
いているようだ。

これからの佛立本旨講の信者
は、堂々と胸を張って進んでい



こうではないか。そう思い、嬉
しくなった一日だった。

所沢教区 Kさん記

13日(火)	高祖大士御命日総講奉修 午前10時半
17日(土)	開導聖人御命日総講奉修 午前10時半
19日(木・祝)	25日 秋季彼岸朝参詣週間 秋季彼岸総回向法要奉修 (本堂) 午前10時 (六角堂) 午後1時
24日(土)	高祖会奉修費、御供米 料奉納、参詣人数申込 締切
25日(日)	門祖聖人御命日総講奉修 午前10時半
〃	正副教区長会開催 午後12時半

ていだん
鼎談

轉教二百号を振り返って(第二回)

日在御導師、久米勲、鳥海早智子

・新しい「轉教」への希望

御導師 さて、そうやって「泉の光」からすっかり「轉教」に変わり、そして今の「轉教」にその感想とか、実際に使っていてこういうのがあれば、とかの御希望はありますか？

鳥海 「轉教」の初め頃にあった予定表には、お寺の行事と教区の行事が記されており、信者さん個人の予定など書きこめて、これ一冊あればどこでも話ができるとても便利だったんです。日尚上人も、これ一冊持つていけばご奉公できますよ、と

言ってらっしゃいました。

御導師 見直してみましよう。本のサイズも、女性がバッグに入れて持ちやすいサイズにすることが発端になって「泉の光」も一度B6判にしましたね。

久米 でも、字が小さくて読みにくいとの意見があり、現在のA5判に戻しました。

御導師 今は当初の「泉の光」と違って、対社会的な一般論だとか社会的問題などはほとんど扱わな

い、御信心だけの本になってきました。そうするとおのずと役割が信心、日常ご奉公に役立つ物に限定ですから、今度は信心の中身を分かりやすく、ということが使命になるんじゃないかな。

久米 僕がやっていた間はそうでした。今年になってからののは「乗泉寺通信」と同じですね。





左から 中里教区鳥海早智子さん、御導師、前轉教編集長 久米勲氏

御導師 そうですか、変わりま
した？

久米 ご信心に関わるのは御導
師の文章だけです。後は、報告
と予定です。

御導師 今のパソコンでやるよ
うになってからそうですね。
文字が大きくなり読み易くなり
ましたけど。たしかに写真が
あって「何々の行事がありまし
た」というような報告で、新聞
的になってきたわけですね。

・仏教の教えの伝え方

御導師 もう一方で、仏教の教
えの説明は難しいでしょう。

鳥海 たしかに難しくしてその時
は分からないですけど、後か

ら又読むとだんだん分かってく
ることもあります。

御導師 ある信者は他の宗派は
もっと簡単に言ってるのける。現
代語で正確でない意味のことを
あっさり言い切っている。それ
に比べると「轉教」は難しい、
御法門も言葉が難しいという指
摘がありました。今後の「轉教」
の役目という事を考えると、次
世代の人たちに分り易くするこ
とと、そのために正確さに欠け
ても簡易な内容にして良いのか
という課題があります。

鳥海 でも、私たちが子供のこ
ろは御導師の話聞いても何も
分からなかったけど、何度も何
度も聞いているうちに、自然に

分かってきました。ですから、わざわざ分り易くする必要はないのではないのでしょうか。

久米 それと、御法門は信心の事のみ語っています。やはり生活との結びつきがあると分り易いのではないのでしょうか。ただ、「轉教」は御法門と違い、意思を持って読まなくてはいけなから難しいですネ。

御導師 ただ分り易くすれば良いというだけの問題ではない。

久米 対象は信心を始めて日が浅い方の事を考えて、「Q&A」を復活して分らないことを分り易く説明する事は必要ですネ。

御導師 ただ、全てを「轉教」に組み入れる必要はないかもし

れない。現在準備中のホームページを活用するなど、他の手段で伝えることも考えなくてはなりません。新しい人達用の分り易い切り口の伝達方法は必要ですネ。それにしても、書いて

残すというのは難しいことです。どうすれば良いのかいつも悩みます。書いているうちにいつの間にか難しくなっていくってしまふ。

(以下次号)



第二地区の鍊成会を二階和室にて、講演会という型で開催いたしました。

講師は永年、河出書房で編集者として、作家と深く関わりをもっておられた西部連合の久米

勲氏です。作家のその人となり、生き方等をよく知っておられますので、お話をしていただく事になりました。

久米氏の担当した作家は、川端康成、瀬戸内寂聴、水上勉、



左から二人目 川端康成氏、右隣 久米勲氏

幸田文、吉行淳之介、野坂昭如氏等です。これらの作家の話をエピソードを加えながら、面白く、又、写真や出来上がった本を持って来て、見せて頂きました。皆、興味深く時間を忘れて聞かせていただきました。

野坂昭如氏のエピソードとし

て、この方は原稿が遅くて、再三の催促に困り果てて、夜に訪ねて泊ったけれど、翌朝も仕上がらず、こまったこともあったという事です。

川端康成氏については、あのギョロリとした眼は恐いけど、優しい人だったと話しておられました。手ずからお茶をいれられました。手ずからもあるそうです。

偉い作家も原稿が書けずに苦しむようで、担当編集者との攻防戦が愉快だな、と思いました。又、担当者との話し合いによって、本の題材が決まることもあるそうで、編集者という人も文才がなければ勤まらないようです。

第二弾として、瀬戸内寂聴、

幸田文さんのお話も聞きたいと思っております。

参加者は、他地区の方も参加して下さったので、45名と和室いっぱいの人でした。

第二地区地区長 嶋村直子

今後の各地区錬成会の予定

◎第三地区

十月二十三日(日)

テーマ 拍子木の打ち方

◎第一地区

十一月十三日(木)

テーマ お総講後に懇親会

皆さんのささこえで

杉並教区 Kさん

この度、私は、大きな御利益を二つ頂きました。

五月にかかりつけの眼科で、白内障手術をすすめられ、総合病院を紹介されました。

早速、病院へ行くと、手術をするにあたっての色々な検査を受けました。

その結果、心臓の右冠状動脈の狭い箇所が発見され、このままにしておくとは、狭心症を起こし、命にも係ると診

断されました。

先ず、血管を広げる心臓カテーテル・ステント手術を優先して行なうことになりました。

もし、眼科医の総合病院の紹介がなければ、重篤な病魔に気がつかないまま、回避出来なかつたかもしれません。これが、一つ目の御利益です。

二つ目の御利益は、手術当日の開始時間が先生の都合で早くなり、それが丁度、お寺の詰助

行の時刻と重なりましたので、本当に心強く思いました。

病院のスタッフの方から、あなたは本当に運の良い方ね、手術がこんなにスムーズにいくなんて珍しいと驚かれました。

それを聞いて、あっ、お計らいを頂いたと思い、胸がいつぱいになりました。

多くの皆様が応援祈願を下さり、手術中も詰助行して下さいました。心から感謝申し上げます。

これからも、毎日お寺参詣を続け、応援祈願のありがたさを皆様にお伝えし、精一杯の御奉公をさせて頂きたいと思います。

根気よく

渋谷教区 Iさん

今日は、班員のKさんのお話をさせて頂きます。

昨年十月に、お母様が帰寂され、信行相続をされました。

Kさんとは、五年前から御信心のお付き合いをしています。

当時は、お母様が養護施設に居りました。

最初に、Kさんとお目にかかった時の印象は、御信心には余り関心がないように見られま

した。

しかし、その年の十二月にKさんから連絡があり、お寺にお預けしている御本尊様にお戻り頂きたいとお話でした。

早速、御講師にお話しして、その御本尊を御奉安しようとなりましたら、お傷みしているので、新たに御本尊を拝受させて頂きました。また、新本堂の建立御有志もさせて頂いていただいています

た。

現在、自宅周辺が再開発の為に引越することになりました。

ペットの猫を飼っているのので、物件探しも、その条件に合ったものを望んでいましたら、猫、何匹でも可と物件に出会い、なんなく契約できました。その、お話を聞いて、御利益を頂いたことをお伝えしました。

今後も、お寺や御講参詣と父母の御回向等の大切な事をお伝えして、根気よく育成御奉公をさせて頂きたいと思えます。

すくすく育つ大阪Hさん家兄妹たち

第三地区 Eさん

人間教区Sさんのお席で後続者育成助行をさせて頂きました。ちようど帰郷していた平野まり子さんの日常生活の様子をお話し下さいました。

今年の夏期参詣期間中は、三人のお子さん達に五十回のお題目口唱をしてから朝食をする事を約束しました。毎日続けているうちに、夏休みに入り一心君が一日五十回ずつ増やすと申し出てきたそうです。どんどん増えて、千回、何と三十分もお唱えしていたそうです。

又、お席ではお供水のみとの約束でしたが、大人達が話をしている間に小皿へぶどうを四粒ずつT君が用意してご供養を出してくださいました。将来はパティシエを目指しているとの事です。もう一人、Kちゃんはまだ四歳ですが、兄ちゃんと共に朝のお看経を表にして、毎日出来たらかわいいスタンプを押しつけて頑張っていました。楽しく生活に入り込んだご信心が子供達を自然に後続者育成につながる事なのだ実感し、皆さんにも

お勧めしたいと思いました。

(子供たち自作の御看経一覧表)



★こどもたちの会★

「痛いのが治ったよ！」





お知らせ

本年度高祖会企画で見てくださいました「日蓮聖人物語～佐渡流罪と観心本尊抄」のDVDビデオをご希望のかたは、事務局までお申し込みください。

また、インターネットでも視聴できます。



<https://youtu.be/TLffRNfH27E>

絵手紙を募集しております

轉教10月号でご案内しました、現在準備中の妙應寺ホームページで「寂光の道しるべ」を紹介します。

その際に添える絵手紙を皆さんのご奉公で作りますよう。奮ってご応募ください。



官製はがき大の紙（縦でも横でも可）に「寂光の道しるべ」31話のタイトルに風景、季節の絵を添えてください